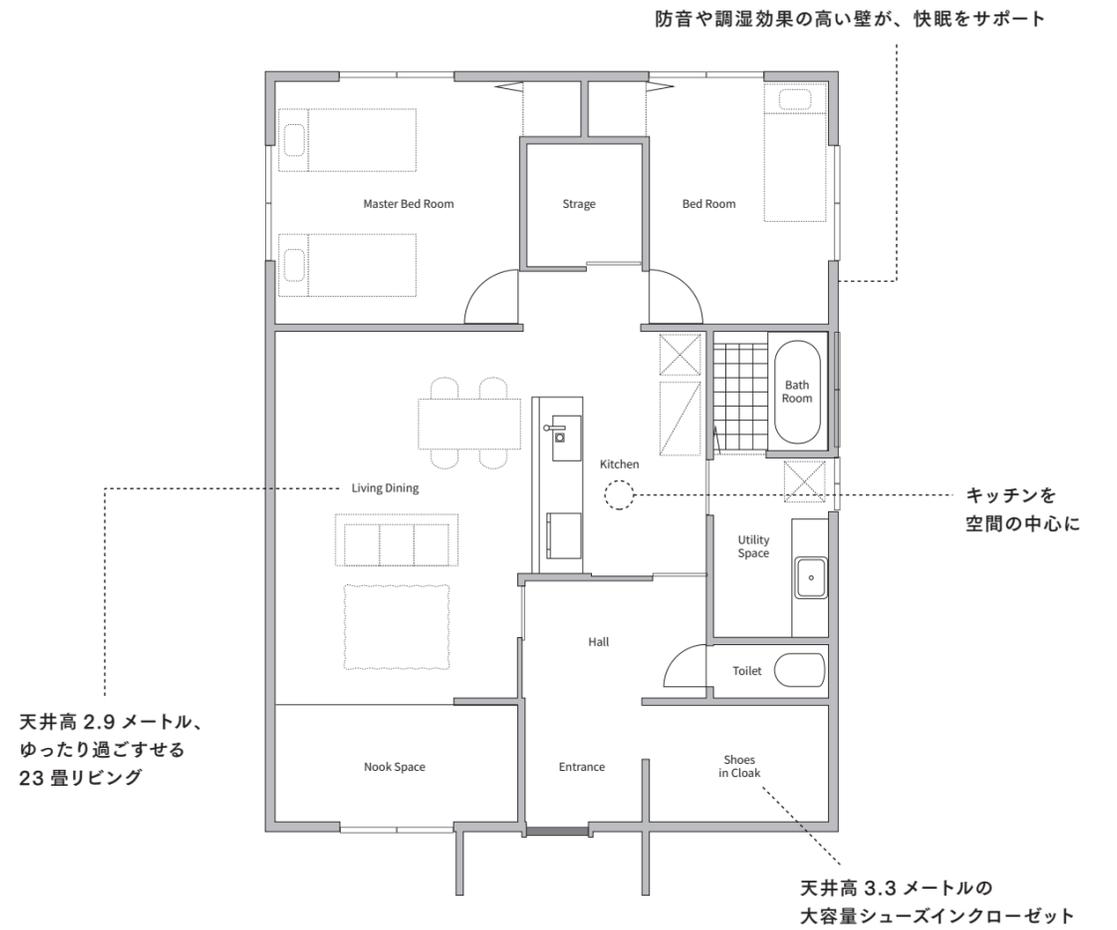


Model N 1.0

日本人のDNA。



平屋が人気だ

平屋が人気だ。しかし、これを不思議に感じる人たちがいる。江戸時代以前のすべての日本人だ。竪穴式や高床式の時代から、家は平屋が当たり前であった。そこには、日本人のDNAに埋め込まれた“安堵”がある。

N1.0は、日本の住宅1.0なのだ。平屋の魅力をあらためて語る必要はないだろう。日本では古くから、“家”とは“平屋”のことなのだから。

集まるを楽しむ。それぞれを楽しむ。

平屋において難しいとされる、プライベートの確保。

PlusMeのN1.0は、“集まる”を楽しむ23帖のLDKと、“それぞれの時間”を大切に個々の空間がバランス良く共存。

2つの洋室は3面以上を居室に接しない設計にするのに加え、セルロース断熱の防音効果により、同フロアなのに個室を異空間に感じる配置に。“それぞれ”を楽しむことを諦めない、平屋N1.0の完成です。